

外国人(がいこくじん)でもわかりやすい日本語(にほんご)のページです。
やさしい日本語(にほんご)でいろいろな情報(じょうほう)をおつたえます。

地震(じしん)があったら 最初(さいしょ)にすること

○家(いえ)で、地震(じしん)にあったら

- 1、机(つくえ)などのしたにはいります。
頭(あたま)を守(まも)ってください。
- 2、地震(じしん)がとまったら、キッチンの火(ひ)をとめます。
火事(かじ)にきをつけてください。
- 3、ドアや窓(まど)をあけてください。
- 4、大(おお)きな地震(じしん)のときはまたすぐに地震(じしん)があることもあります。
- 5、にげるときは、車(くるま)はつかわないでにげます。



○町(まち)のなかで、地震(じしん)にあったら

- 1、公園(こうえん)などの広(ひろ)いところににげます。
- 2、上(うえ)からものが落(お)ちてきます。
建物(たてもの)のなかになげてください。
- 3、壁(かべ)や崖(がけ)のしたは、危険(きけん)です。
ちかくにいかないでください。
- 4、大(おお)きな地震(じしん)のときは、またすぐに地震(じしん)があることもあります。



○車(くるま)で、地震(じしん)にあったら

- 1、ハザードランプをつけてゆっくりと車(くるま)をとめます。
- 2、車(くるま)を道(みち)の横(よこ)にとめて、
カギは車(くるま)においてください。
- 3、カーラジオで地震(じしん)の情報(じょうほう)を聞ききましょう。



○海(うみ)のそばで、地震(じしん)にあったら

- 1、津波(つなみ)がくることがあるのですぐに高(たか)いところへ
にげてください。
- 2、川(かわ)のそばも津波(つなみ)がくるので
ちかくにいかないでください。
- 3、津波(つなみ)は、なんどもきます。海(うみ)にもどらないでください。

お知らせメールを受(う)けとりましょう!

町(まち)から地震(じしん)や大雨(おおあめ)、洪水(こうずい)、津波(つなみ)、火事(かじ)などの災害(さいがい)や事件(じけん)などの情報(じょうほう)、新型(しんがた)コロナウイルス感染症(かんせんしょう)についての情報(じょうほう)をメールで受(う)けとれます。

また、町(まち)のスピーカーのアナウンスの内容(ないよう)をメールで読(よ)むことができます。お知(し)らせメールの登録(とうろく)のやりかたがわからないときは、役場(やくば)へ電話(でんわ)してください。

※お知(し)らせメールは、日本語(にほんご)です。翻訳(ほんやく)アプリなどで、翻訳(ほんやく)してください。

真鶴町役場(まなづるまちやくば) 総務防災課(そうむぼうさいか)
電話(でんわ) 0465-68-1131 ☎内線(ないせん)323

登録(とうろく)はメールを送(おく)ってください。

✉ t-manazuru@sg-p.jp

CHECK!!

ごみカレンダー 11がつ
(ユニバーサルばん)は
ここから みられます



【翻訳】まなづる国際交流協会